



黒帯アナコンダ(KUROOBIANACONDA)は2019年に結成。ジャンルもテーマも異なる、多様なメンバーの非直線的な組み合わせから生み出される光景をテーマに活動をしています。2019年「01 KIRIMI」GINZA6(東京)、2020年「02 WAGIRI」The 5th floor(東京)に続く本展「03 SANMAIOROSHI」はTEZUKAYAMA GALLERYを会場に初の大阪での展示になります。

[Artists]

石井 亨 | Toru Ishii



染色家。1981年静岡県生まれ。2014年、東京藝術大学大学院美術研究科美術専攻博士後期課程修了。友禅染という日本古来の染色技法を再考しながら、伝統工芸の革新と現代美術の刷新をテーマに作品を制作する。主な展示にSokyo Gallery(京都/2018)、大和日英基金ジャパンハウスギャラリー(ロンドン/2014)、イセ・カルチュラル・ファンデーション フロントスペース ギャラリー(ニューヨーク/2012)、東京オペラシティアートギャラリー、プロジェクトN(東京/2011)、ミヅマ・アクション(東京/2010)での個展、「TOUCH」ATELIER BLANCS MANTEAUX(パリ/2018)、「Light Sgraffito」ヴィクトリアアンドアルバート美術館(ロンドン/2017)、「IMAYŌ: Connecting Past and Present」ホノルル美術館(ホノルル/2016)、「KIZASHI」ポーラ・ミュージアム・アネックス(東京/2014)、「EDO POP: THE GRAPHIC IMPACT OF JAPANESE PRINTS」ジャパソサイエティ・ギャラリー(ニューヨーク/2013)への参加がある。東京藝術大学大学美術館、Morikami Museum(マイアミ)、Victoria and Albert Museum(ロンドン)に作品が収蔵されている。

image caption | Shinbashi, 2011, itome yuzen on silk, H109 × W109 × D30mm

大平 龍一 | Ryuichi Ohira



彫刻家/美術博士/ストリートレーサー。1982年東京都生まれ。2011年、東京藝術大学大学院博士課程修了。現在、千葉県のアトリエを拠点に制作活動を行う。これまでに、バーナーで燃やしカーボナイズ(炭化)させた木彫や、上下逆さまで自立する果物の彫刻など、彫刻に様々な手法を加えた作品、インスタレーションを国内外のギャラリーやアートフェアで発表。現代アートギャラリーNANZUKAに所属。

主な展示に日本橋三越本店コンテンポラリーギャラリー(東京/2020)、ギャラリー月極(東京/2019)、FR2 GALLERY2(東京/2018)、Galerie Vera Munro(ハンブルク/2016)、NANZUKA(東京/2014)、鶴岡アートフォーラム(山形/2012)での個展、「アトリエの末裔あるいは未来展」東京芸術大学陳列館(東京/2015)、「colored noise」ヒカリエ8(東京/2014)、「よりしろプロジェクト2013」上賀茂神社(京都/2013)、「Immemorial Foreseeing」Fellini Gallery(上海/2010)への参加がある。

image caption | Badmobile, 2020, burned camphorwood, stainless, H430 × W180 × D150 mm

©Ryuichi Ohira

小畑 多丘 | Taku Obata



B-BOY/彫刻家。1980年埼玉県生まれ。2008年、東京藝術大学大学院美術研究科修士課程彫刻専攻修了。自らもB-BOYであり、木彫による人体と衣服の関係性や、B-BOYと彫刻を端緒に生まれる空間、動き、重力を追求、彫刻以外のメディアでも精力的に表現し続けている。※B-BOY (ブレイクダンスをする人)

主な展示にPARCEL(東京/2020)、Japan House London(ロンドン/2020)、White Conduit Projects(ロンドン/2020)、Bomma galerie(パリ/2020)、東京日本橋高島屋美術画廊X(東京/2016)、Gallery KIDO Press(東京/2016)、Jonathan LeVine Gallery(ニューヨーク/2014)、中村ケース・ヘリング美術館(山梨/2012)での個展、City and guilds of London art school BA ,MA show(レジデンス作家枠 ロンドン/2019)、「Seven Days Too Long」Mirus Gallery(デンバー/2019)、「P—Powers of PLAY—」東京藝術大学大学美術館陳列館(東京/2018)、HYPER LANDSCAPE「超えていく風景」ワタリウム美術館(東京/2018)、NEW VISION SAITAMA 5「The Emerging Body」埼玉近代美術館(埼玉/2016)、SIDE CORE -TOKYO WALKMAN- hiromiyoshii roppongi(東京/2015)への参加がある。

image caption | untitled, 2020, acrylic on canvas, H1820 × W2240 × D50 mm

小池 一馬 | Kazuma Koike



画家/彫刻家。1980年生まれ、大阪府在住。幼少期をプエノスアイレス、高校時代をバルセロナで過ごす。日本大学藝術学部美術学科彫刻専攻卒業。「架空の古代遺物」をテーマに、偶像、ツゴ、大型ネコ類、植物、パインナップなどをモチーフにしたセラミック彫刻、ペインティング、ドローイングを制作している。「異なる要素が調和しながら共存した状態」や「モノの用途や意味が変化する過程」への関心のもと、異なる場所/時代に由来するイメージをミックスして作られる作品は、どこにも属していないかのような独特の浮遊感をまとっている。

主な展示に、私立大室美術館(三重/2021)、TEZUKAYAMA GALLERY(大阪/2020,17,14)、AISHONANZUKA(香港/2019,16,13)、VOLTA 12(パーゼル/2016)、VOLTA NY(ニューヨーク/2016)、AISHO MIURA ARTS(東京/2013,12,11,10,09)での個展がある。

image caption | BC201112, 2020, ceramic, H530 × W230 × D200 mm

佃 弘樹 | Hiroki Tsukuda



1978年香川県生まれ、東京都在住。自身によって「外の世界(アウターワールド)」と解説される、現実と非現実的とが共存しているかのような世界観を持った作品を制作している。現代アートギャラリーNANZUKAに所属。

主な展示にPetzel(ニューヨーク/2020,16)、群馬県立近代美術館(群馬/2019)、NANZUKA(東京/2018,14,09,07)、Neuer Aachener Kunstverein(アーヘン/2017)、Galerie Gisela Capitain(ケルン/2017)、WARHUS RITTER-SHAUS(ケルン/2015)、での個展、「PHANTOM PLANE, CYBERPUNK IN THE YEAR OF THE FUTURE」大館(香港/2019)、「六本木クロッシング2019展: つないでみる」森美術館(東京/2019)、「FUTURE NATURE」Jack Hanley Gallery(ニューヨーク/2016)、「Unechte Landschaft」BKV Brandenburgischer Kunstverein Potsdam e.V.(ポツダム/2015)、「YOU TAKE YOUR CAR TO WORK, I TAKE MY PAINT」(ケルン/2015)、「My Other Car Is A Painting」Galerie Gebr. Lehmann(ドレスデン/2015)への参加がある。2018年には自身の作品がニューヨーク近代美術館に収蔵される。

image caption |

Remnant Seal 02, 2020, charcoal, acrylic ink and pencil on paper, wood panel, with silkscreen printed acrylic frame, φ1000 × D43 mm / ©Hiroki Tsukuda

山田 周平 | Shuhei Yamada



1974年生まれ、京都市在住。写真、映像、立体、平面、インスタレーションと様々な作品形式を展開し、社会状況に対する考察を通じて作品を制作している。2013年、アーモリーショーのキュレーション部門において、当時アンディウォーホル美術館(ピッツバーグ)館長のエリックシャイナー(現 Pioneer Works ディレクター/ニューヨーク)により唯一の日本人として選出され、様々なメディアで話題となった。

主な個展にDaiwa Anglo-Japanese Foundation(ロンドン/2019)、AISHONANZUKA(香港/2017,16,14)、The Armory Show(ニューヨーク/2013)、CAPSULE(東京/2012)。主なグループショーに「Next World—夢みるチカラ」タグチ・アートコレクション×いわき市立美術館「いわき市立美術館(いわき市/2021)、「Other Ways」Enokojima FLAG STUDIO(大阪/2017)、「Unclear nuclear」URANO(東京/2016)、「Resonance」Sao La Gallery(ホーチミン/2014)への参加がある。2003年、写真新世紀優秀賞受賞。2017年、ISCPレジデンスプログラム(ニューヨーク)に参加。主なコレクションにタグチコレクション。

image caption | The eyes, 2019, balloon, ink, H2000 × W4000 × D2000 mm

展覧会概要 | Exhibition Information

KUROOBIANACONDA 03 SANMAIOROSHI

2021.8.6 [FRI] - 8.28 [SAT]

[営業日 / OPEN]

火曜日 - 日曜日 12:00 - 19:00 | TUESDAY - SUNDAY 12:00 -19:00

[休廊日 / CLOSE]

月曜日 | MONDAY

夏期休廊: 8月11日(水曜日) - 8月17日(火曜日) | SUMMER VACATION: 8.11 WEDNESDAY - 8.17 TUESDAY

[アーティスト / Artists]

石井 亨 | Toru Ishii

大平 龍一 | Ryulichi Ohira

小畑 多丘 | Taku Obata

小池 一馬 | Kazuma Koike

佃 弘樹 | Hiroki Tsukuda

山田 周平 | Shuhei Yamada

[協力]

AISHONANZUKA / NANZUKA / PARCEL / Sokyō Gallery

[主催]

KUROOBIANACONDA ㊦

お問い合わせ | CONTACT

[会場]

TEZUKAYAMA GALLERY

(〒550-0015 大阪市西区南堀江1-19-27 山崎ビル2F)

[お問合せ]

Mail | info@tezukayama-g.com (担当: 岡田)

Tel: 06-6534-3993

[webサイト]

<https://tezukayama-g.com/>